

支援部だより

— 8号 —



令和2年1月14日
鳥取県立鳥取養護学校
発行 キャリア教育部・支援部

鳥取大学附属特別支援学校との交流

高等部の生活・ふれあいコースの生徒と鳥取大学附属特別支援学校高等部2年生が、毎年学校間交流を行っています。今年は11月20日（水）に9名の生徒が来校し「自己紹介」「じゃんけん列車」「バルーン」の活動を通して交流を楽しみました。

昨年に続き、交流の事前ビデオでお互いの自己紹介をしたことで、すぐに打ち解けることができました。

鳥取大学附属特別支援学校の生徒から「最高の時間が過ぎました。」と感想が聞けるなど、とても有意義な交流となりました。

（文責：安本賢）



外部専門家との連携

本校では子どもたちのニーズに応じた教育を展開していくために、外部専門家の方より指導・助言を受ける機会を設けています。支援部だより第5号で紹介した療育園の『施設支援』もその一つですが、鳥取盲学校、鳥取聾学校からも教育相談という形で指導・助言を受けています。各分野の専門家との連携を図ることで、子どもの活動の幅が広がったり別の視点からせまっていけたりすることにつながっています。相談例について紹介します。



（担任より）

まとまりとして物を捉えたり、滑らかに目を動かしたりすることについての助言がほしいです。



（盲学校より）

カラーボール、ピンポン球等を転がし、転がってきたボールを目で追ってキャッチしたり、紙風船やお手玉等、動く物を目で追ってパンチしたりするなど、楽しみながらできそうなことからしてみましょう。

（文責：福田嘉）

小学部への体験入学

本校のセンター的機能による相談の一つとして『体験入学』を実施しています。来年度本校への入学を検討しておられる校外の幼児・児童・生徒が、進路選択の機会として参加されます。今年度、中学部は7月、小学部・高等部は9月を中心に実施しました。

小学部の場合は、9月に半日、希望により11月頃に1日体験を実施し、少しずつ新しい環境に慣れたり学校の雰囲気を感じ取ってもらったりしています。

先生の話に興味深そうに聞いたり体験クラスの友だちと一緒に活動を楽しんだり、入学に向けての意気込みを感じました。



～『朝の会』の様子～

（文責：福代）